交流分析(TA)を活用した社会貢献
特定非営利活動法人 日本交流分析協会

中国支部

NO.31（2025年7月）

Japan Transactional Analysis Association CHUGOKU Branch

http://jtaachugoku.wixsite.com/2017

検索 Wix 中国支部

「支部長挨拶」

中国支部長　　鎌倉祥子

猛烈な暑さが続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

現在、日本そして世界の情勢は大国間の対立や地域紛争の激化、格差の拡大などによって混迷を深めています。国際情勢が深刻となり、先行きが不透明な状況です。また、世界的なインフレ、異常気象や災害の多発、SNS やインターネット上でのフェイクニュースや誤情報の拡散は、社会の分断を加速させており、世界が直面する問題は山積みです。

この不安定な状況は、身近に表れており、日本交流分析協会の事業活動にも、会員数減少、基幹講座受講者の減少は、事業活動にマイナスの影響を与えています。このような時期だからこそ、協会内部の充実を図る必要性を痛感しています。

２０２５年度の中国支部は、TA カレッジの充実、基幹講座の開講、質の高い研修、会員同士の親交に力を入れて組織の発展や成長を目指しています。

会員の皆様には日々の生活の中に、仕事に交流分析を活かされ、そして、交流分析の理論を周りの人々に広めていっていただきたくお願いいたします。個々の親交親密による信頼感が、心の安寧をはかり、幸福感をもたらすことができ、しいては争いのない平和な世界に繋がっていくのだと確信しています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

中国支部集会報告

令和 7 年度の中国支部集会が、去る 5 月 18 日（日）に無事終了いたしました。ZOOM での開催となりましたが、参加者は 30 名、委任状数は 31 名でした。

事務局・会計から令和 6 年度事業報告、会計報告が行われ、その後、監査報告についての説明がありいずれも承認されました。続いて令 7 年度の事業計画（案）、予算計画（案）、人事案承認の件について説明され、いずれも承認されました。

役員一同、気持ちを新たに支部活動のさらなる活性化に取り組む所存です。今年度も引き続き、会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。　　（報告：事務局長　石原香里）

研修報告

インストラクター資格更新研修（2025 年 2 月 16 日　本部主催 ZOOM）

講師：川合由美子　教授

「発展しつつある交流分析」～脚本を中心に～

研修では、理論学習と事例研究やワークの体験学習で理解を深めることができました。事例の中には、昨年の大河ドラマで取り上げられた「源氏物語」もあり、登場人物の人生脚本を考察する時間は楽しく興味深い学習となりました。以下、受講者のアンケートをいくつか掲載します。

《受講者アンケートから抜粋》

・交流分析が今なお発展し続けていることを理解しました 今後も引き続き学ぶことを続けようと思います 脚本の要素と構造では、ドライバーと禁止令の関係が分かれば脚本の構造が理解できるということが印象に残りました。今まで、ドライバーはこれ、禁止令はこれ、と単独で考えていましたが、関係しあって人の行動に影響をあたえるのだと認識しました。 私自身の人生脚本を今一度振り返って、深めてみようと思いました。

・脚本の成立、人生の立場関係を振り返りながら脚本について学びを深めることが出来ました。脚本の要素と構造の部分ではドライバーとワーキングスタイルの説明、ドライバーと複合決断など「朧月夜の姫君」を例に、また、プロセス脚本は「落語」を用いた事例がユニークで分かりやすいと感じました。 最後に自分らしい人生脚本へ向けて、これまで得た知識を活用し日々快く過ごしたいと思います。

・脚本の肯定的な面について、過去を振り返ると確かに肯定的な面があったと実感します。そこにも、幼児決断しその後生きていく上で、人間の本質的なニーズ（生存本能やストロークを求めることなど）を満たし私を守ってくれていたのだとありがたい気持ちになりました。

・進化する TA として、新しいドライバーの発見やドライバーと禁止令によって自分の脚本をどのように作っていったのか、自己の振り返りや脚本の書き換えにドライバーとどのようにかかわっていくか、多くを学びました。 もっと早く組織にいるときに、TA の脚本理論を学んでおけばもう少し人生が変わっていたかに感じました。

・今まで認識していた理論のほかにも、多くの理論(ドラマ・ダイヤモンドや 6 番目のドライバーなど)が存在することを知ることができました。 自身のプロセス脚本は何か、それを解放するために出来る具体的なことは…等自分ごととしての落とし込みができ、大変有意義な研修だったと感じています。

研修報告

支部研修会　（2025 年 6 月 29 日　ハイブリット開催）

講師：宇治木敏子　准教授

～非認知能力とは～

アタッチメントとストローク　－自尊感情、レジリエンスの高め方－

今年度の支部研修会は、対面と ZOOM を併用したハイブリットで開催しました。非会員の方も多く参加していただき、研修後に会場で行われた懇親会では、日常生活における交流分析の活用などをグループで話し合い、シェアしました。学び、語り、相互理解を深める有意義なひとときとなりました。

《受講者アンケートから抜粋》

・アタッチメントの大切さをとても強く感じました。少子化対策で子供手当や学費無料化等お金で解決しようとするよりも、アタッチメントで子育ての楽しさを感じてもらい広まっていくことでだんだん失われてきた人を思いやる気持ちも取り戻すことができるのではないかと思います。

・アタッチメントとレジリエンスがこれからの時代とても重要となると感じました。
子育て真っ最中の方に、おじいちゃんおばあちゃん世代の温かい支援と交流分析の知識を届けたいと思いました。

・赤ちゃんだけでなくマッサージする人（お母さん）の不安度も下がる。但し「どういう気持ちで赤ちゃんに触っているのか？が赤ちゃんに伝わる」というところが印象に残りました。
・ストロークは、交流分析を学んでからずっと日々の生活の中で心がけて実践していることなので興味深く聞かせていただきました。 先生の経験を踏まえて、ストロークが必要であること大切であることを改めて感じました。

・幼少期にアタッチメントを経験することが非認知能力を育みその後の認知能力も発達し、幸福度にも影響するということ。ジェネリックスキルについて初めて知ったこと。自分を知ることで心の安心がしやすくなるということ学びました。

行事予定

内　　容	日　　程	会　　場
インストラクター受講資格試験	8月2日	中国支部
第48回全国年次大会	10月11日、12日	四　国
1級認定試験	10月25日、26日	出　雲
会員交流会	11月下旬	島根（松江）
インストラクター資格更新研修（本部主催）	2026年2月	ZOOM

※　都合により日程・会場が変わることがあります。最新の情報は、HPか公式LINEでご確認下さい。

認定試験合格者

Certification　1級

兒林　修造　　佐々木幸枝　　梅津　岸代

Certification　2級

根本　恵子　　塩冶　朋江　　田川麻衣子　　高橋　義子　　竹下　敦子

事務局からのお知らせ

★支部事務所の利用について★

中国支部事務所は「講座・勉強会」などで使用可能です。

使用料：1時間あたり300円

使用に関する詳細は事務局までお問い合わせください。

住　所：〒732-0044
広島県広島市東区矢賀新町5丁目
3-23　SKビル501号

※天神川駅、イオンモール広島府中にも近いビルです。

編集：広報委員　石原　香里